

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	出雲医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	64 単位	9 単位	
	理学療法士学科	夜・通信	52 単位	9 単位	
	臨床工学技士学科	夜・通信	29 単位	9 単位	
	言語聴覚士学科	夜・通信	37 単位	9 単位	
	医療総合学科	夜・通信	60 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公開 https://www.icmn.ac.jp/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	出雲医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公開 https://www.icmn.ac.jp/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大阪大学大学院医学系研究科 教授 (2006.1.1～)	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
非常勤	社会医療法人弘道会 理事長 (2010.4.1～)	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
非常勤	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会富田林病院 院長 (2016.4.1～)	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	出雲医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書の作成に当たり、科目、単位、講師名、授業の方法、授業の内容、授業の回数や授業毎の到達目標、成績評価の方法と基準等を記載できるように様式を統一した。各授業担当者が授業計画書を作成し、その長が全体を確認した上で授業計画書を完成させた。完成した授業計画書は年度始めに冊子として学生に配布し、授業計画書を確認し授業に臨むようオリエンテーションしている。また、広く告知できるよう本校ホームページ情報公開の欄に公開している。	
授業計画書の公表方法	ホームページで公開 https://www.icmn.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位修得の認定は、講義及び実習に必要な時間の出席状況と授業科目の評価により行う。必要な時間の出席については、出席時間が授業時間の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受ける資格を失う。授業科目の評価は、学生にあらかじめ示した授業計画書に記載された成績評価の方法、基準のとおりで行い、100点満点で評価をしている。 各授業科目の100点満点の学修成果の評価は、優・良・可・不可(優:80点以上、良:70点から79点、可:60点から69点、不可60点未満)で行っており可以上を合格としている。不可の場合は、再試験を行い再試験で60点以上を合格としている。	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全履修科目の成績得点を合計し、平均点を算出する。ただし、平均を算出する場合の「入学前単位履修認定科目」は全履修科目から除外する。平均値から学科毎の成績分布を作成する。成績分布は、50点未満と50点以上60点未満、60点以上70点未満、80点以上90点未満、90点以上100点以下の6段階で分ける。下位1/4に該当する人数は、全体を4で除した値で、少数点以下を切り捨てた値とする。また、下位1/4に該当する者の最上位者の点数を指標とする。</p> <p>客観的な指標の算出方法を本校ホームページ上に公表する。海外への留学時にはGPA表記(5段階表記)に変換し評価できるようにしている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページで公開</p> <p>https://www.icmn.ac.jp/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校の理念に基づき、社会のニーズを踏まえた上で学生が身につけるべき能力を有したものに卒業を認定するというディプロマポリシーを定め、公表している。</p> <p>卒業の認定の方針(ディプロマポリシー)は(1)豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有していること。(2)組織やグループの中でリーダーシップやフォロアーシップを発揮できること。(3)医療のニーズに柔軟に対応でき、社会・地域に貢献できる能力を有していることである。本校の卒業の認定の方針に基づく能力を修得できるようカリキュラムを編成している。</p> <p>卒業の認定は、学則で定める全ての授業科目の単位修得の認定を受け、出席すべき日数の2/3以上の出席がある者を卒業判定会議で学校長が最終判定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ホームページで公開</p> <p>https://www.icmn.ac.jp/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	出雲医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公開 https://www.icmn.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	ホームページで公開 https://www.icmn.ac.jp/
財産目録	ホームページで公開 https://www.icmn.ac.jp/
事業報告書	ホームページで公開 https://www.icmn.ac.jp/
監事による監査報告（書）	ホームページで公開 https://www.icmn.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3090時間／99単位 単位時間／単位	2025時間 /75単位	30時間 /1単位	1035時間 /23単位	0時間/ 0単位	0時間/ 0単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		218人	0人	15人	112人	127人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） すべて必修科目とし、基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱ、統合分野の配列構造は漸進型とし、1年次より各基礎科目と関連づけながら看護に必要な基礎的実践能力を学べるようにしている。授業内容、授業回数、授業毎の到達目標、成績評価の方法と基準等の様式を統一し、各授業担当者が授業計画書を作成した。学生には冊子で配布し、本校ホームページ情報公開の欄に公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価は優・良・可・不可とする。当該科目試験にて課題提出状況、筆記試験で総合的に評価し、科目出席時間が授業時間の2/3に達していない場合は評価を受ける資格を失う。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p><進級>出席すべき日数の3分の2以上出席していること、各学年の教育課程進捗表に示されている授業科目を認定され進級判定会議で認定された者。</p> <p><卒業>本校の教育課程を修了した者で、本校の定める授業科目、単位数を履修し、授業科目各々の単位を認定され、修業年限3年、在学年限内で卒業判定会議で認定された者。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>入学前はプレカレッジを実施し、入学後は、成績不良者に対し学習サポートで支援している。</p> <p>入学後は、欠席が続く場合や学習成績が振るわない場合、担任が学生や保護者と面談し原因を把握し、学科で共有し適切な対応を行う。</p> <p><本校の教育支援システム(職業人教育=職業教育+キャリア教育)></p> <p>入学前教育(プレカレッジ)→在学教育(カレッジ)→生涯教育(ポストカレッジ)</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
58人 (100%)	3人 (5.2%)	55人 (94.8%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、出雲市立総合医療センター、出雲徳洲会病院等			
(就職指導内容)			
就職フェアの開催、進路相談、就職対策(履歴書確認、模擬面接、小論文添削)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
看護師国家資格 受験58人 合格58人 合格率100%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
212人	5人	2.4%
(中途退学の主な理由)		
メンタルヘルス・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
クラス担任の複数制による細やかな日常観察を行い、学生一人ひとりの状況変化を捉え、会議等で情報共有を行う。進路変更や学力不足の場合は、担任を中心に関わり、精神面ではカウンセラーへつなぎ、学力強化には補講を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3165時間／105単位 単位時間／単位	1755時間 /68単位	510時間 /17単位	900時間 /20単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		95人	人	5人	63人	68人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 科目、単位、講師名をはじめ、授業の方法、授業の内容、授業の回数や授業毎の到達目標、成績評価の方法と基準等を様式の内容を統一し、各授業担当者が授業計画書を作成した。学生には冊子で配布し、本校ホームページ情報公開の欄に公開している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 評価は優・良・可・不可で評価する。当該科目試験にて評価し、科目出席時間が授業時間の2/3に達していない場合は評価を受ける資格を失う。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） <卒業>全ての授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の2/3以上の出席があり、卒業判定会議で認定されたもの <進級>出席すべき日数の3分の2以上出席していること、各学年の教育課程進度表に示されている授業科目を認定され進級判定会議で認定された者。	
学修支援等	
（概要） クラス担任制にて運用 入学前はプレカレッジや学びのセミナーを実施する。入学後は、欠席が続く場合や学習成績が振るわない場合、担任が学生や保護者と面談し原因を把握し、学科で共有し適切な対応を行う。 <本校の教育支援システム(職業人教育=職業教育+キャリア教育)> 入学前教育(プレカレッジ)→在学教育(カレッジ)→生涯教育(ポストカレッジ)	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29人 (100%)	人 (%)	22人 (75.9%)	7人 (24.1%)
（主な就職、業界等） 林整形外科医院、介護老人保健施設 寿生苑、飛翔会、出雲市民リハビリテーション病院等			
（就職指導内容） 就職フェアの開催、進路相談、就職対策（履歴書確認、模擬面接、小論文添削）			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 理学療法士国家資格 受験 29 名 合格 22 名 合格率 75.9%
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状 (令和 3 年度)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92 人	4 人	4%
(中途退学の主な理由) 病気・学力不足		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による日常観察や随時面談を実施し、学生ひとり一人の状況変化を即座に察知し、会議等で情報共有を行っている。経済的理由の場合には、事務局と連携し奨学金等を検討する。精神面では、カウンセラーへつなぐ。学力不足の学生には、確認試験や補習などを通して学力向上に努める。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床工学技士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3180時間／109単位 単位時間／単位	2235時間 /81単位	495時間 /17単位	450時間 /11単位	0時間/0 単位	0時間/0 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		34人	0人	4人	54人	58人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 科目、単位、講師名をはじめ、授業の方法、授業の内容、授業の回数や授業毎の到達目標、成績評価の方法と基準等を様式の内容を統一し、各授業担当者が授業計画書を作成した。学生には冊子で配布し、本校ホームページ情報公開の欄に公開している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 評価は優・良・可・不可とする。当該科目試験にて課題提出状況、筆記試験で総合的に評価し、科目出席時間が授業時間の 2/3 に達していない場合は評価を受ける資格を失う。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） <卒業>全ての授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の 2/3 以上の出席があり、卒業判定会議で認定されたもの <進級>当該学年の授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の 2/3 以上の出席があり、進級判定会議で認定されたもの	
学修支援等	
（概要） クラス担任制にて運用 入学前はプレカレッジや学びのセミナーを実施する。入学後は、欠席が続く場合や学習成績が振るわない場合、担任が学生や保護者と面談し原因を把握し、学科で共有し適切な対応を行う。 <本校の教育支援システム(職業人教育=職業教育+キャリア教育)> 入学前教育(プレカレッジ)→在学教育(カレッジ)→生涯教育(ポストカレッジ)	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	18人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 益田赤十字病院、出雲徳洲会病院、鳥取生協病院、医誠会病院、森脇医院他			
（就職指導内容） 就職フェアの開催、進路相談、就職対策（履歴書確認、模擬面接、小論文添削）			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 臨床工学技士国家資格 受験 18 名 合格 18 名 合格率 100% 第 2 種 ME 技術実力認定試験 (受験者数 18 名 合格 14 名 合格率 77.7%) (備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	5 人	1.1%
(中途退学の主な理由) メンタル不良、学力不足		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任だけではなく学科教員全員で、細やかな日常観察を行い、学生一人ひとりの状況変化を即座に察知し、会議等で情報共有を行う (出席できなかった教員にはメール連絡、会議録等で後日確認をするように周知している)。学生が進路変更希望屋や学力不足等の場合は、担任を中心にに関わり、精神面の支援を必要とする場合は複数の教員で判断し、学内のカウンセラーへつなぎ、学力強化には補講を行う等を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	言語聴覚士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3060時間／110 単位	2520時間 /97単位	0時間 /0単位	540時間 /14単位	0時間 /0単位	0時間 /0単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		16人	人	1人	22人	23人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）科目、単位、講師名をはじめ、授業の方法、授業の内容、授業の回数や授業毎の到達目標、成績評価の方法と基準等を様式の内容を統一し、各授業担当者が授業計画書を作成した。学生には冊子で配布し、本校ホームページ情報公開の欄に公開している。
成績評価の基準・方法
（概要）評価は優・良・可・不可とする。当該科目試験にて課題提出状況、筆記試験で総合的に評価し、科目出席時間が授業時間の2/3に達していない場合は評価を受ける資格を失う。
卒業・進級の認定基準
（概要）＜卒業＞全ての授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の2/3以上の出席があり、卒業判定会議で認定されたもの ＜進級＞当該学年の授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の2/3以上の出席があり、進級判定会議で認定されたもの
学修支援等
（概要）クラス担任制にて運用 入学前はプレカレッジや学びのセミナーを実施する。入学後は、欠席が続く場合や学習成績が振るわない場合、担任が学生や保護者と面談し原因を把握し、学科で共有し適切な対応を行う。 ＜本校の教育支援システム(職業人教育=職業教育+キャリア教育)＞ 入学前教育(プレカレッジ)→在学教育(カレッジ)→生涯教育(ポストカレッジ)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	8人 (88%)	1人 (12%)
(主な就職、業界等) 島根県立中央病院、加藤病院、野島病院、皆生温泉病院、医療法人。社会福祉法人真誠会、福山リハビリテーション病院、五日市病院、姫路聖マリア病院			
(就職指導内容) 就職フェアの開催、進路相談、就職対策（履歴書確認、模擬面接、小論文添削）			

(主な学修成果(資格・検定等)) 言語聴覚士国家資格 受験9名 合格8名 合格率88%
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者懇談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	医療総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710時間／ 62 単位	1215時間 /45単位	1095時間 /39単位	240時間 /6単位	0時間 /0単位	0時間 /0単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		8人	人	1人	5人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）科目、単位、講師名をはじめ、授業の方法、授業の内容、授業の回数や授業毎の到達目標、成績評価の方法と基準等を様式の内容を統一し、各授業担当者が授業計画書を作成した。学生には冊子で配布し、本校ホームページ情報公開の欄に公開している。
成績評価の基準・方法
（概要）評価は優・良・可・不可とする。当該科目試験にて課題提出状況、筆記試験、出席状況等を総合的に評価し、科目出席時間が授業時間の2/3に達していない場合は評価を受ける資格を失う。
卒業・進級の認定基準
（概要）＜卒業＞全ての授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の2/3以上の出席があり、卒業判定会議で認定されたもの ＜進級＞当該学年の授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の2/3以上の出席があり、進級判定会議で認定されたもの
学修支援等
＜概要＞クラス担任制にて運用 入学前はプレカレッジや学びのセミナーを実施する。入学後は、欠席が続く場合や学習成績が振るわない場合、担任が学生や保護者と面談し原因を把握し、学科で共有し適切な対応を行う。 ＜本校の教育支援システム(職業人教育=職業教育+キャリア教育)＞ 入学前教育(プレカレッジ)→在学教育(カレッジ)→生涯教育(ポストカレッジ)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
令和3年開講した学科の為、現段階では卒業生はなし。今年度終了後に初めての卒業生を輩出する予定。			
(就職指導内容)			
就職フェアの開催、進路相談、就職対策（履歴書確認、模擬面接、小論文添削）等を全体指導から個別指導へと移行していく。			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p><目標資格>健康運動実践指導者・健康ケアトレーナー・スチューデントトレーナー・介護予防運動トレーナー・医療秘書技能検定・医療事務管理士・医師事務作業補助者・ホスピタルコンシェルジュ・ITパスポート・情報セキュリティマネジメント・ビジネス能力検定・ビジネス文書検定・ニュース検定</p> <p>*専攻により取得目標資格は異なる</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>なし</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>個別面談(普段より学生の変化に気付き声を掛ける、出席や成績に問題があれば保護者連絡を行い、情報の共有を行う)</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	100,000 円	700,000 円	290,000 円	
理学療法士学科	100,000 円	800,000 円	395,000 円	
臨床工学技士学科	100,000 円	1,000,000 円	295,000 円	
言語聴覚士学科	100,000 円	900,000 円	395,000 円	
医療総合学科	100,000 円	700,000 円	200,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページで公開 https://www.icmn.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校が選任した地域の方や高校関係者、卒業生代表、関連企業の方で評価委員を構成している。自己点検自己評価では、Ⅰ教育理念や目的、育成人材像、Ⅱ学校運営、Ⅲ教育活動、Ⅳ学修成果、Ⅴ学生支援、Ⅵ教育環境、Ⅶ学生の募集と受入れ、Ⅷ財務、Ⅸ法令等の遵守、Ⅹ社会貢献・地域貢献の10項目の評価している。学校関係者評価委員会では、本校の自己評価結果を評価し、その客観性や透明性を高めることを目的とする。 そして評価の過程を通じて今後の学校運営上の改善などに活かすとともに、特色ある学校づくりにつなげるよう位置づけている。学校関係者評価委員会を開催するに当たり、本校の評価結果を説明することはもとより、できる限り豊富な情報の中で評価していただくよう、関連資料を準備し、学校を知る機会を増やしていくよう心がけている。学校として、評価結果は管理運営会議で報告し、自己点検自己評価委員会で課題の優先度を検討し、具体的な改善策を立て実施している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校法人 永島学園 出雲西高等学校	令和4年4月 1日～ 令和6年3月31日 (2年)	高校関係者 校長
今市コミュニティセンター センター長	令和4年4月 1日～ 令和6年3月31日 (2年)	近隣関係者
なし	令和4年4月 1日～ 令和6年3月31日 (2年)	保護者
出雲徳洲会病院	令和4年4月 1日～ 令和6年3月31日 (2年)	卒業生
公益社団法人 島根県看護協会 理事	令和4年4月 1日～ 令和6年3月31日 (2年)	企業等委員

一般社団法人 島根県理学療法士会	令和4年4月 1日～ 令和6年3月31日 (2年)	企業等委員
一般社団法人 島根県臨床工学技士会 会長	令和4年4月 1日～ 令和6年3月31日 (2年)	企業等委員
一般社団法人 山陰言語聴覚士協会 理事	令和4年4月 1日～ 令和6年3月31日 (2年)	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページで公開 https://www.icmn.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページで公開 https://www.icmn.ac.jp/

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	出雲医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		48人	48人	51人
内 訳	第Ⅰ区分	29人	24人	
	第Ⅱ区分	14人	15人	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				51人

(備考)

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。
 ※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。